

耳鼻咽喉科

医 長 : 赤木 祐介

スタッフ数 : 4名 常勤医師(日本耳鼻咽喉科学会認定専門医) 3名、レジデント 1名

「概要と特徴」

耳鼻科領域は、呼吸器・消化器の入り口であり、複雑な構造をもち、また聴覚・嗅覚・味覚などの感覚器である
また耳鼻科領域には多彩な疾患がある

当院では耳鼻咽喉科の一般的な治療を行っています

手術件数は年間 350 件(人)程度

手術日は毎週 火・木曜日(全日)

外来日は毎週 月・水・金曜日(午前中:午後からは病棟診察および検査・処置・説明)

鼻の手術・外来診察などに用いる内視鏡はハイビジョン対応・NBI 機能あり

そのほかの各種機器も充実している

「初期研修の基本的方針」

◎耳鼻科領域の common disease の診断から治療の流れの理解

◎耳鼻咽喉科診察の基本的な手技の習得

耳鏡・鼻鏡・喉頭ファイバーの使い方

一般的な耳・鼻・のどの所見がとれる

頸部触診ができる など

◎耳鼻咽喉科領域の検査の理解と実施

聴力検査各種・眼振検査(めまいの検査)・嗅覚検査

◎耳鼻咽喉科領域の画像診断に対する理解・

CT・MRI・エコーなど(超音波は耳鼻科外来に設置)

「研修予定表」

行 事	曜 日	時 間
病棟回診	月～金(毎日)	15:00～17:00
外来	月・水・金	8:45～12:30
手術日	火・木	8:30～17:15
病棟カンファレンス	適宜	

「指導体制」

“常勤医師 3 人”と“レジデント 1 人”の 4 人による複数指導体制

「経験可能な症例や手技」

- 耳鼻科診療機器の取り扱い・習熟
- 扁桃炎に対する手術:両側口蓋扁桃摘出術の経験
- 鼓膜切開・チュービングなど比較的容易な耳の手術
- 喉頭ファイバーが自在に操れるようになる
- 鼓膜所見が確実にとれる
- 鼻出血止血法や異物摘出など救急外来などで必要とされる診断力と治療手技の獲得

「後期研修について」

当科を専攻希望した場合の3年目以降の研修体制

- ・チームによる診療
- ・各種学会・研修会・研究会への参加
- ・各種手術の経験

当科での後期研修終了後の進路

耳鼻咽喉科専門医としての研修(当院は耳鼻咽喉科専修施設の認定あり)
岡山大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局関連病院での研修も可能

取得可能な専門医資格

耳鼻咽喉科専門医 : ただし初期研修2年終了後、4年間の耳鼻科専門研修を要する

「研修責任者よりひとこと」

◎当科のセールスポイント

地域の中核病院の一つとして、**common disease** の診断・治療の流れが分かる
一般的な手術手技が習得可能
症例経験が accrue
オン・オフがはっきりしている
急性感染症・慢性疾患良悪性腫瘍など様々な疾患に対する治療経験が accrue

◎当該科として期待する初期研修医像

耳鼻科専修医にならなくても、少しでも耳鼻咽喉科に興味があれば動機は何でも・
まじめに働ける人

◎研修希望時の連絡先

耳鼻咽喉科 : 赤木 祐介